



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔

TEL 052-533-3135

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	124,399	11.7	11,727	24.6	12,191	25.0	7,117	29.2
2020年3月期第3四半期	140,872	0.1	15,552	2.2	16,253	3.5	10,051	6.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,158百万円 (35.9%) 2020年3月期第3四半期 9,600百万円 (45.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	109.00	108.96
2020年3月期第3四半期	153.93	153.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	197,304	144,588	65.5
2020年3月期	206,169	146,074	63.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 129,288百万円 2020年3月期 130,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		49.00		57.00	106.00
2021年3月期		49.00			
2021年3月期(予想)				57.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,500	8.9	16,500	20.9	17,000	20.3	10,000	21.5	153.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年1月29日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 有 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	67,590,664 株	2020年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,297,249 株	2020年3月期	2,296,827 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	65,293,601 株	2020年3月期3Q	65,294,181 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しており、雇用情勢や設備投資に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況にあります。また、アジア・オセアニア地域の経済につきましては、中国では新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しの動きがみられましたが、インドネシアでは依然として厳しい状況が継続しています。

国内建設市場においては、住宅着工は、持家や貸家および戸建てが大幅に減少しました。非住宅関連では、景気の先行き不透明感から、店舗、工場、医療・福祉施設、などの着工面積が減少し、全体としても前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。また、グループ一丸となって業務改革を推進し、生産効率の向上、各種コスト削減などに努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高124,399百万円（前年同期比11.7%減）、営業利益11,727百万円（同24.6%減）、経常利益12,191百万円（同25.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,117百万円（同29.2%減）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内においては、木工・家具向け汎用接着剤、施工用接着剤、集成材用接着剤などが低調で売上が前年を下回りました。海外においては、中国やベトナムなどでは新型コロナウイルスの影響から持ち直しの動きがみられましたが、インドネシアでは影響が長期化しており、売上が減少しました。

建設樹脂系商品は、橋梁・土木用の補修・補強材が好調に推移したものの、工場・倉庫向けの塗り床材が低迷し、売上が減少しました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内会社においては、電子機器関連用途のUV樹脂が前年を上回りましたが、自動車用ホットメルトや紙・粘着剤・繊維用途のアクリル・コンパウンド製品、化粧品用の有機微粒子が低迷し、前年を下回りました。エバモア・ケミカル・インダストリー社につきましては、主力製品のシューズおよびスポーツウエア向けのウレタン樹脂や家具の塗料向け架橋剤が低迷し、前年を下回りました。

このような結果、売上高は65,213百万円（前年同期比16.2%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は4,945百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

(建装建材セグメント)

メラミン化粧板は、国内においては、抗ウイルスメラミン化粧板「アイカウイルテクト」が好調でしたが、大都市圏での工事減少、店舗需要の低迷などが影響し、前年を下回りました。海外においては、インドやインドネシアで売上が低迷しましたが、第1四半期連結累計期間より連結業績に組み入れたウィルソナート各社やアイカHPLトレーディング社が寄与し伸長しました。全体としても売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板が低迷し、前年を下回りました。

メラミン不燃化粧板「セラル」は、抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラルウイルテクト」が売上を伸ばし、学校を中心とした非住宅需要は回復傾向にありますが、首都圏需要低迷の影響を受けて、全体としては売上が前年を下回りました。

不燃建材は、多機能建材「モイス」が耐力面材用途の好調により、アクリル樹脂系塗掛けい酸カルシウム板「ルナライト」が医療・福祉施設や教育施設の好調により、それぞれ伸長しましたが、押出成型セメント板「メース」が低迷し、前年を下回りました。

カウンター・ポストフォーム商品は、天然石の代替品としてキッチン・洗面カウンター需要を獲得した高級人造石「フィオレストーン」が好調でしたが、戸建て住宅や集合住宅向けのキッチン対面カウンター「バリューエッジカウンター」が低調で、全体として売上が前年を下回りました。

建具・インテリア建材は、住宅向けの洗面化粧台「スマートサニタリー」が好調で売上を伸ばしましたが、住宅向けの建具が低調で、前年を下回りました。

このような結果、売上高は59,186百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は8,769百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は119,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,729百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が6,141百万円、現金及び預金が1,346百万円減少したことによるものであります。固定資産は77,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ864百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が491百万円、投資その他の資産が779百万円増加したことに対し、有形固定資産が407百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、197,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,865百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は44,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,522百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3,022百万円、未払法人税が2,414百万円、流動負債その他が2,206百万円減少したことによるものであります。固定負債は8,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、52,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,380百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は144,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,485百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が7,117百万円、剰余金の配当が6,921百万円となったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.5%（前連結会計年度末は63.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月19日に公表した当連結会計年度の通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症による景況感悪化の影響から、厳しい状況となりましたが、売上高は予想通り推移しました。一方で、利益につきましては、グループ一丸となって業務改革を推進し、生産効率の向上、各種コスト削減などに努めた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が計画を上回って推移したことから、業績予想を修正することといたしました。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	174,500	14,500	14,700	9,000	137.84
今回発表予想（B）	174,500	16,500	17,000	10,000	153.15
増減額（B－A）	0	2,000	2,300	1,000	—
増減率（%）	0.0	13.8	15.6	11.1	—
（ご参考）前期実績（2020年3月期）	191,501	20,850	21,333	12,732	195.01

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,690	39,344
受取手形及び売掛金	61,691	55,549
商品及び製品	10,153	9,527
仕掛品	1,132	1,302
原材料及び貯蔵品	8,098	7,350
その他	8,002	7,142
貸倒引当金	△620	△797
流動資産合計	129,148	119,418
固定資産		
有形固定資産	50,366	49,959
無形固定資産		
のれん	4,624	5,042
その他	7,167	7,241
無形固定資産合計	11,792	12,283
投資その他の資産		
その他	14,874	15,654
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	14,862	15,642
固定資産合計	77,021	77,885
資産合計	206,169	197,304
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,799	21,776
電子記録債務	5,207	5,658
短期借入金	5,947	6,301
未払法人税等	3,616	1,202
賞与引当金	1,957	1,273
その他	10,040	7,834
流動負債合計	51,568	44,046
固定負債		
長期借入金	914	945
退職給付に係る負債	1,476	1,492
その他	6,136	6,231
固定負債合計	8,526	8,669
負債合計	60,095	52,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,276	13,276
利益剰余金	106,786	106,969
自己株式	△2,009	△2,010
株主資本合計	127,945	128,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,743	3,512
繰延ヘッジ損益	16	△3
為替換算調整勘定	△474	△2,289
退職給付に係る調整累計額	△33	△58
その他の包括利益累計額合計	2,252	1,161
新株予約権	27	27
非支配株主持分	15,848	15,273
純資産合計	146,074	144,588
負債純資産合計	206,169	197,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	140,872	124,399
売上原価	102,895	89,659
売上総利益	37,976	34,740
販売費及び一般管理費	22,424	23,013
営業利益	15,552	11,727
営業外収益		
受取利息	122	145
受取配当金	353	307
投資有価証券売却益	216	556
その他	620	754
営業外収益合計	1,314	1,764
営業外費用		
支払利息	83	137
売上割引	127	103
納期遅延賠償金	—	552
その他	402	505
営業外費用合計	613	1,299
経常利益	16,253	12,191
特別損失		
事業再構築費用	—	273
災害による損失	18	—
特別損失合計	18	273
税金等調整前四半期純利益	16,234	11,918
法人税、住民税及び事業税	4,620	4,085
法人税等調整額	449	△15
法人税等合計	5,070	4,069
四半期純利益	11,164	7,849
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,113	732
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,051	7,117

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	11,164	7,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	531	768
繰延ヘッジ損益	3	△19
為替換算調整勘定	△1,982	△2,409
退職給付に係る調整額	△69	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	△5
その他の包括利益合計	△1,564	△1,690
四半期包括利益	9,600	6,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,680	6,025
非支配株主に係る四半期包括利益	920	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	77,795	63,076	140,872	—	140,872
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,011	—	2,011	△2,011	—
計	79,807	63,076	142,883	△2,011	140,872
セグメント利益	6,272	11,374	17,646	△2,094	15,552

(注)1. セグメント利益の調整額△2,094百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,094百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,213	59,186	124,399	—	124,399
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,713	—	1,713	△1,713	—
計	66,926	59,186	126,113	△1,713	124,399
セグメント利益	4,945	8,769	13,714	△1,987	11,727

(注)1. セグメント利益の調整額△1,987百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,989百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。